



本事業は、SDGsの「17 パートナーシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2025 年 5 月 23 日（金）

愛知県経済産業局革新事業創造部  
イノベーション企画課推進グループ

担 当 奥山、水島、福島

内 線 5261、5133

ダイヤル 052-954-7422

## 知事の中東渡航中の行事結果について

2025 年 5 月 13 日（火）午後、知事はアラブ首長国連邦のアブダビにおいて、最先端の医療 DX や医療ツーリズムを提供するクリーブランドクリニックアブダビを視察しました。

### クリーブランドクリニックアブダビ訪問

#### 1 日時

2025 年 5 月 13 日（火）午後 1 時から午後 3 時まで  
（日本時間 5 月 13 日（火）午後 6 時から午後 8 時まで）

#### 2 場所

クリーブランドクリニックアブダビ（アブダビ）

#### 3 面談者

クリーブランドクリニックアブダビ

ジョージ・パスカル・ハーバー CEO（最高経営責任者）

ブライアン・ロード CIO（最高情報責任者）

スティーブン・グロブマイヤー がん研究所所長

アイシャ・アル・クーリー エグゼクティブディレクター

#### 4 愛知県側出席者

大村秀章知事

#### 5 内容

大村知事は、アメリカのクリーブランドクリニックの分院として、アラブ首長国連邦アブダビに設立された多くの診療科を持つ総合病院である、クリーブランドクリニックアブダビを訪問しました。この病院は、UAE 及びその周辺地域における複雑で重篤な医療ニーズに応えることを目的に設立されています。今回は、医療 DX の活用状況や、施設内にあるがん放射線医療施設、VIP 対応施設などを視察しました。

最初に、クリーブランドクリニックアブダビのスティーブン・グロブマイヤーががん研究所長から歓迎の挨拶がありました。

その後、病院内のがん放射線医療施設を視察し、がん研究所長のスティーブン・グロブマイヤー氏から「がん治療にあたっては最先端のシステムを用いて、患者の

体内構造の変化を毎回治療前に AI で分析し、最適な放射量と照射位置を自動的に計算し効果的な治療を実施している。」との説明を受けました。

次に、クリーブランドクリニックアブダビの全体像について、ゲストサービスチームから「クリーブランドクリニックアブダビは、幅広い診療科目による患者中心のアプローチを特徴としており、外来診療、入院病棟、集中治療室、放射線治療を含む多岐にわたる包括的な医療サービスを提供している」との説明を受けました。

続いて、VIP 及び国際患者サービスを担当しているエグゼクティブディレクターのアイシャ・アル・クーリー氏から、この病院で提供している、VIP 及び国際患者向けのサービスについて、「クリーブランドクリニックアブダビは、アブダビ首長国における医療ツーリズムの主要な医療提供機関とされており、UAE の居住者及び世界中の人が個々の患者に最適化された高度な医療を受けられるようにしている。国際患者の数は年々増加しており、昨年は約 2,000 人の患者が当院で治療を受けた。国際患者の皆様が快適でスムーズに治療を受けられるように、当院では世界水準の医療サービスに加え、交通手段、宿泊、その他の手配を支援する専任のコンシェルジュサービスを提供している。」との説明がありました。

また、クリーブランドクリニックアブダビでは、日本企業から、中東地域で初めてとなる重粒子線治療機器\*を導入することが決まっており、がん研究所所長であるスティーブン・グロブマイヤー氏から「来年、重粒子線治療の専用施設の建設を開始する予定である。」との説明がありました。

その後の面談では、クリーブランドクリニックアブダビで取り組まれている、医療 DX や日本との連携プロジェクトについて意見交換を行いました。

この中で、医療 DX については、スティーブン・グロブマイヤー氏から「アブダビでは、国内の医療機関で共通する電子カルテが導入されている。そのため、医療機関間での患者の検査結果や診療履歴がリアルタイムで共有される。医師は必要な患者の情報を迅速に取得でき最適な治療に結び付けていくことが可能であるほか、例えば、先日行った検査を別の医療機関で再検査するといった重複処方を避けられ、医療費の大幅な削減、診療の効率化が進んでいる。」との発言がありました。

また、CEO のジョージ・パスカル・ハーバー氏が「クリーブランドクリニックアブダビでは、最先端の AI の技術や医療ロボットを活用し、がん治療のほか、心臓や肺、肝臓といった臓器移植、消化器疾患の治療に注力している。」との発言がありました。大村知事は、「AI を使って毎日身体状況を確認した上で、さらに AI により毎日治療計画を修正させながら、日々最適な医療が行われていることは素晴らしい。」と発言しました。

最後に大村知事から、「このクリニックでは、AI や DX を活用した世界最先端の医療が行われ、中東のみならず世界中の患者さんの治療を行っている。今後とも、こうした最新医療によるリーディングファシリティを提供し、世界をリードするクリニックとなるよう期待している。今後とも貴クリニックと愛知県との連携を進めていきたい。」と締めくくりました。

\* 重粒子線治療機器

従来のX線よりもがん病巣に狙いを定めた照射が容易であり、細胞致死作用がX線や陽子線より2～3倍大きく、がん治療に適した性質を有している。

(国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 WEB ページより)



視察の様子①



記念撮影

スティーブン・グロブマイヤーがん研究所長（右）



視察の様子②



意見交換の様子



記念撮影

ジョージ・パスカル・ハーバーCEO（左から1人目）、スティーブン・グロブマイヤーがん研究所長（左から3人目）、ブライアン・ロードCIO（右から2人目）、アイシャ・アル・クーリー エグゼクティブディレクター（右から1人目）

### 【クリーブランドクリニックアブダビ概要】

#### (1) 設立

2015 年

#### (2) 事業概要

- ・アブダビ政府が掲げる「Economic Vision 2030」の一環として、高度で専門的な医療サービスを国内で提供し、国内外の患者が質の高い医療を受けられる環境を整えている。(UAE は年 50 万人の医療観光客を受入)
- ・病床数は 364。心臓、神経、眼科、呼吸器など 14 の研究所と 40 以上の専門分野を持ち、患者中心のケアを提供している。
- ・病理検査スライドの確認、電子カルテ情報に基づく患者の臨床試験へのマッチングなどに A I を活用し、治療中の患者のウェアラブル端末によりモニタリングし、再入院や緊急外来受診のリスクを評価する取組も行っている。